

支所経営方針

支所名	樋脇支所	支所長名	桐原 大明	
① 支所の使命 (組織の存在価値)	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な業務を所掌する支所として、迅速・的確・丁寧な住民サービスを行い、樋脇地域の特性を生かした地域振興・産業振興、そして快適で安全安心の住み良い地域づくりを進めること 地区コミュニティ協議会始め、各団体と協働しつつ、「みんなで創り、育む交流躍動のまち樋脇」をモットーに、住民参加型の行政運営をすること 			
② 支所内の経営 資源	支所関連の 主な予算額	3.5 億円 (356,265千円)		
	構成人員	職員	嘱託	計(人)
		53	31	84
③ 組織目標像	<ul style="list-style-type: none"> グループ制実施にあたり、職員の意識改革、研修により、住民ニーズに対し、全課的かつ柔軟性、効率性のある事務を遂行する。 行政サービスに関しては、本庁と支所間に格差やズレが生じないように、本庁との連絡、調整を強化する。 粗大ゴミ中継施設建設による快適環境づくり、緊急時の市民ライフライン確保体制の確立、給食を含む安全・安心の地域づくりを行い、高校再編問題に係る「マイナスからプラスへの転換策」を推進する。 これまで培われてきた地域独自の歴史、伝統、文化を尊重しつつ、将来的展望のなかで新しいまちづくりと、サッカー大会やよさこい祭り(九州・中国地区大会案)、産業祭(予定)などイベント開催による地域活性化を全支所的に行う。 			
平成18年度の重点目標と主な取組み				
④ 平成18年度の重点目標	⑤ 平成18年度中に目指す 水準(指標と目標値)	⑥ 具体的な取組み		
目標と方針の支所内・課内共有化と実践	<ul style="list-style-type: none"> 使命遂行に向けた職員意識徹底(市長五訓一奉・経・和・創・チャレンジ・分身) グループ制の相互理解と実践(グループの業務を知る) 	<ul style="list-style-type: none"> 課内ミーティング、メール配信などの活用(4月) 人材育成基本方針の活用 事務フローチャートの作成、活用(全庁的マニュアルとの調整要。7月) 		
事務・事業の効率化・スピードアップ、管理費節減	<ul style="list-style-type: none"> ムダ・ムリ・ムラの縮減(前年度比2割) 	<ul style="list-style-type: none"> 月1回のPDCA管理(支所内会議) 		
自主的改善による市民サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ノーミス・ノー苦情へ(二度同じことのないよう) 	<ul style="list-style-type: none"> 週1回の課内ミーティング 一人1提案 		
職員のマナー・モラル(士気)アップ	<ul style="list-style-type: none"> 社会情勢の把握、公務員であることの再認識、行動 	<ul style="list-style-type: none"> マナーアップシートの作成配付 職場内外研修の実施 「戒石銘」 		

- * 作成日基準日は平成18年4月1日
- * 嘱託員（月額報酬者）は、非常勤職員である。